

# 魚

三年 11  
画数 11  
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊  
オン ギョ  
クン うお・さかな



成り立ち

「うお(さかな)」「のかたちをあらわした字で、  
お(さかな)」「のことをあらわした字です。

「魚(ぎょ)」「にかぎらず、「水の中にすむどうぶつ」はこ  
の「魚(うおん)」をつけてあらわされています。

たとえば、「ほにゆうどうぶつ」の「鯨(くじら)や「なんだ  
いどうぶつ」の「鱒(ます)がそのれいです。

「さかな」ということばは、「おかず(ふくしよくぶ  
つ)」「といういみの「な」に「酒(さけ)」「(じゆくご)のときは  
「さか」となる。」「がついたもので、「酒をのむときの  
おかず」といういみのことばです。魚がつかわれますの  
で、「さかな」というようになりました。

使い方

▽魚介(いし)は、わたしのおかあさんのこうぶつです。と  
くに赤貝(あかがい)が大好きです。

▽ぼくは、魚はあまり好きではありません。にくのほう  
がすきです。でも、おかあさんは、「魚はりょうしつ  
のたんぱくしつなんだから、からだにいいのよ。」とい  
ます。だから、魚をたべるように、どりよくしていま  
す。

▽はる休みに、みんなで、下田(しもた)の水ぞくかんにいきま  
した。いろいろな魚がおよいでいました。わたしは熱  
帯魚(ねつたいぎよ)が気に入りました。とてもきれいないろをしてい  
るからです。おとうとは、えいがいちばんおもしろい、  
といいました。わたしは、えいはなんだかぶきみで、  
きらいです。

熟語例

▽魚介(いし)や貝(かい)のなま。うみでとれるどうぶつのこと  
をいいます。

▽熱帯魚(ねつたいぎよ) (熱帯にすんでいる魚。いろやかたちが、うっ  
くしくめずらしいものがおおい。)

▽深海魚(しんかいぎよ) (深い海にすnderする魚。)

# 京

二年 8  
画数 8  
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇  
オン キョウ・ケイ  
クン

成り立ち



おかの上に立っているごてんのかたちをあらわしたも  
ので、王さまのごてんのある「みやこ」といういみをあ  
らわした字です。

「みやこ」ということばをあらわした字には、ほかに  
「都(みやこ)」「があつて、いまは、「みやこ」ということばはこ  
の字であらわし、「京(みやこ)」「は「みやこ」のいみでつかつて  
も「みやこ」とはよまなくなりました。

わが国では、ふるい都(みやこ)の「京都(きょうと)」「といまの都の「東  
京都(とうきょう)」「につかわれています。

「キョウは呉音で、京都も東京も古い呉音で読まれる  
が、新しい言葉「京浜(きやうへん)」「京葉(きやうえつ)」「京阪(きやうはん)」「は、漢音のケ  
イで読む。」

使い方

▽京都(きょうと)は日本のふるいみやこです。江戸時代までは、日  
本のみやこは京都にあったのです。明治時代になると、  
日本のみやこは東京にうつされました。それからはず  
つと、東京が日本のみやこです。

▽「うしわかまる」のうたは「京のごじょうのはしろう  
え」というでだしてはじまっています。この京という  
のは、京都のことです。

▽大阪(おおさか)へしゅつちようしていたおとうさんが、三日ぶり  
に帰京(ききやう)しました。

熟語例

▽上京(じやうきやう) (京へのぼること。みやこへいくこと。むかしは  
京都へいくことでした。いまは東京へいくことです。

▽二十年(にじゅうねん)ぶりに、むかしのともだちにあうために上京(じやうきやう)  
した。などといっています。

▽帰京(ききやう) (みやこへ帰ること。東京へ帰ること。)

▽京浜(きやうへん) (東京と横浜のこと。)

▽京葉(きやうえつ) (東京と千葉のこと。)

▽京阪(きやうはん) (京都と大阪のこと。)